

令和6年12月16日
大山町まちづくり課

1 サウンディング型市場調査実施の経緯

大山町では風車を町の環境保護活動のシンボルとすることを目的として、平成17年1月に建設し売電を開始しました。令和7年5月31日でFIT契約（固定価格買取制度）期間が終了することで今後の事業採算性が確保できない見込みのため町営での風力発電事業は行わないこととしました。風力発電事業終了後の利活用等について検討するため、サウンディング型市場調査を実施しました。

2 対象施設の概要

名称 高田工業団地風力発電所
所在地 鳥取県西伯郡大山町高田 1 1 8 9 番地 2
概要 ドイツ Repower社製 MD77
発電量 1,500kw
1基

全長	118.5m
発電機までの高さ	80m
ブレード直径	77m
支柱の直径	（最大）4.3m（最小）3.0m

3 サウンディング型市場調査のスケジュール

実施要綱の公表 令和6年10月23日（水）
サウンディング型市場調査の実施 令和6年12月4日（水）
実施結果の公表 令和6年12月18日（水）

4 サウンディング調査の参加者

1社

5 調査結果の概要

高田工業団地風力発電所の風車解体撤去・利活用について

- ・風車解体後の土地を工場用地として取得し、隣接する工場の増築、生産設備の増設、雇用の創出を行う。
- ・風車の解体工事を定点カメラで撮影することで、解体作業の工程、工数等を記録し、映像・画像・数値等の実績を活用する。
- ・風車の解体費用は町が負担する条件で、風車を含めて土地購入を行う。解体撤去の際に連携することで、風車の基礎杭の一部を増築する工場の基礎に活用することが考えられる。基礎の一部撤去費用が必要なくなることで町の負担が減少する。

6 今後について

今回のサウンディング型市場調査では、参加いただいた事業者から様々な提案をいただくことができました。

本町といたしましては、この度のサウンディング型市場調査の結果を踏まえ、課題整理を行いながら、風力発電事業終了後の利活用等について検討を進めてまいります。